

2020年3月16日

## Autodesk®Revit®で利用できる 照明器具のBIMファミリデータを無償で提供開始

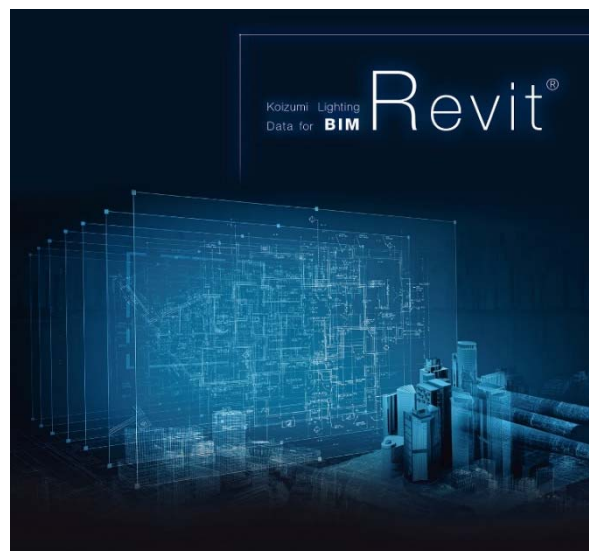
### コイズミ照明株式会社

本社：大阪府中央区備後町3-3-7  
社長：梅田照幸、資本金：450百万円

コイズミ照明株式会社(以下、コイズミ照明)はオートデスク株式会社のBIMアプリケーション「Autodesk®Revit®」向けの照明器具のBIMファミリデータを、3月16日からコイズミ照明Webサイトで公開しますのでお知らせします。

建築業界において設計から施工、維持管理に至るまで、建築ライフスタイル全体でモデルに蓄積された情報を活用する BIM (Building Information Modeling)※が急速に普及しつつある状況を踏まえ、コイズミ照明では720機種のBIMファミリデータの提供を開始します。製品パラメータ情報をはじめ、レンダリングや照度検証に役立つモデリング情報としてご活用いただければ、建築設計業務の効率改善をサポートします。

※BIM (Building Information Modeling)とは、オートデスク株式会社が提供する、コンピュータ上に作成した3次元の建物モデルにさまざまな情報を持った建物を構成する部品を追加することで、設計・施工から維持管理までのあらゆる工程において情報を活用するワークフローです。



### (1) 業務効率改善に貢献

BIMを導入すると、初期段階から建物の3DのBIMモデルを作成するので、照明器具の仕様やビジュアルを確認しながら器具選択し、正確な位置へ器具を配灯することができます。また、設計の変更が発生した場合は、BIMモデルの変更を行うと平面図や立面図、パース、数量表などの各種図面・資料へ自動で変更を反映させることができ、変更作業の効率化やミスの減少が図れます。また初期段階から設計内容や完成イメージが3Dで視覚的にわかりやすくなり、施主への効果的なプレゼンや早期の合意形成につながります。

### (2) 照明特有の情報を幅広く提供

提供するデータは、パラメータ情報としてマテリアルデータ、照明器具のランプ・消費電力・電流・電圧、器具寸法・可動角度、照明配光IESデータなどさまざまな情報を持たせています。また、モデリング情報は、数値入力で照射角度の変更が可能で、照明配光IESデータに基づくりアルな

## Press Release

発光感を再現できます。例えば、光色変化による空間イメージや、床材・壁材の内装仕上げと光色の影響をビジュアルでわかりやすく検証したり、照度分布イメージを作成することができます。

※レンダリング、照度シミュレーションはオートデスク社が提供するクラウドレンダリング(有償)のご利用が必要となります。



### (3) LCRによる充実したサポート体制

コイズミ照明の照明設計部門であるLCR(Lighting Creative Room)ではBIMデータを使用した照明設計が可能で、基本構想から確度の高い光環境をデザインし、ご提案を行います。



### (4) 豊富なラインアップ

Webサイトにはソリッドシリーズやベースライト、ダウンライト、スポットライト、間接照明器具など主要な製品11シリーズ計720アイテムのBIMデータを提供します。



**コイズミ照明 BIMファミリデータダウンロードサイト：**

<https://www.mediapress-net.com/search/KZMBIM/index.html>

\*Autodesk、Revit は米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

#### ◆本件に関するお問合せ先◆

コイズミ照明株式会社 経営統括部 経営企画部 広報室

TEL:06-6266-8141(直通)